

| | | | |
|--|-----------------------|-------------|---------|
| 年度 2009 学期 前期 | 曜日・校時 金曜日・2校時 | 必修選択 必修 | 単位数 2単位 |
| 授業科目/(英語名) | 教養特別講義 / (Colloquium) | | |
| 対象年次 1年次 | 講義形態 講義・講演 | 教室 322・中部講堂 | |
| 対象学生(クラス等) D17 K26 | 科目分類 共通基礎科目 | | |
| 担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 谷川昌幸/Eメールアドレス:tanigawa@nagasaki-u.ac.jp/研究室:教育学部/TEL:819-2308 /オフィスアワー:木曜2校時 林秀千人/Eメールアドレス:hidechto@nagasaki-u.ac.jp/研究室:工学部/TEL:819-2516/オフィスアワー:月曜日16:00 ~18:00 富永義則/Eメールアドレス:ytomi@nagasaki-u.ac.jp/研究室:環境科学部/TEL:819-2748 /オフィスアワー:金曜日 13:00-15:00 教員研究室 中村武弘/Eメールアドレス:tak-nak@nagasaki-u.ac.jp /研究室:環境科学部315/TEL:819-2746 /オフィスアワー:水曜1校時 | | | |
| 担当教員(オムニバス科目等) | | | |
| 授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 授業のねらい:ものの見方・考え方の多様性、課題探求・学問の面白さを知るとともに、学生生活の拠点となる長崎についての多様な視点からの諸特徴について理解を深めることによって学生諸君が探求心と豊かな心を持ち、平和を支え、社会に貢献する人材となることを期待する。 授業方法 :特別講演形式と講義形式の両建てにより行い、特別講演は学長、理事、名誉教授などが担当する。講義は、「長崎」3回、「安全・安心」2回、「平和」3回、「海洋と文化」3回を講義する。 授業到達目標:特別講演により、長崎大学の理念に触れ、ものの見方・考え方の多様性、課題探求・学問の面白さを知る。講義により、学生生活の場である長崎の歴史、文化、自然を理解し、長崎大学に学ぶ学生としての自覚を促し、世界を理解する。身近に起こりうる災害や対処法等について学び、安全で安心できる地域社会の大切さを理解する。被爆地長崎を通して平和について学び、平和を愛する豊かな人間性を育む。地球上全ての生命の維持に不可欠な海洋について学ぶ。さらに、古来より、大陸文化の伝来・発展・交流の街道の最前線であった長崎を理解する。アジアとの関係を含め、長崎の歴史、文化、平和について知識を広め互いにそれぞれの分野について議論できるようになる。 | | | |
| 授業内容(概要)/授業内容(毎週毎の授業内容を含む) 授業内容(概要) 平和: グローバル化は国境ばかりか、軍隊と警察、戦争と平和の区別を曖昧にしてしまった。この授業では、この変化を説明した上で、現代における平和実現のためには何が必要かについて考察する。①近代の消極的平和、②グローバル化と積極的平和、③途上国における平和構築。 安全・安心:安全について、概要を講義する。自ら積極的に安全を行い、安心できる生活を過ごすために、日頃か何をどのようにすべきか考え、地域や個人での備え、助け合いの大切さを学ぶ。 長崎: 第1回 シーボルト来日の意味、シーボルトの処方箋から見えるもの 第2回 化学技術の開祖上野彦馬について 第3回 衛生学の父長与専斎について 海洋と文化: 第1回:海洋の流動について 第2回:海洋の環境汚染について 第3回:海洋のエネルギーについて 第1回 4月10日 特別講演Ⅰ 片峰 茂(学長) 第2回 4月17日 平和 谷川昌幸(教育学部) 第3回 4月24日 平和 谷川昌幸(教育学部) 第4回 5月1日 平和 谷川昌幸(教育学部) 第5回 5月8日 安全・安心 林秀千人(工学部) 第6回 5月15日 安全・安心 林秀千人(工学部) 第7回 5月22日 長崎 富永義則(環境科学部) 第8回 5月29日 長崎 富永義則(環境科学部) 第9回 6月5日 長崎 富永義則(環境科学部) 第10回 6月12日 特別講演Ⅱ 水田善次郎(名誉教授) 第11回 6月19日 特別講演Ⅲ 小山 純(名誉教授) 第12回 6月26日 海洋と文化 中村武弘(環境科学部) 第13回 7月3日 海洋と文化 中村武弘(環境科学部) 第14回 7月10日 海洋と文化 中村武弘(環境科学部) 第15回 7月17日 特別講演Ⅳ 橋本健夫(教学担当理事) | | | |

| | |
|----------------------|---|
| キーワード | <p>平和：グローバル化，積極的平和，平和構築，途上国</p> <p>安全・安心：安全・安心</p> <p>長崎：シーボルト，古写真，衛生学の父</p> |
| 教科書・教材・参考書 | <p>平和：(参考書)高橋・舟越編『ナガサキから平和学する』法律文化社，2008</p> <p>藤原・岡本(編)『グローバル時代の平和学』第1～4巻，法律文化社，2004</p> <p>安全・安心：教科書は使用しない。資料を配布する。</p> <p>長崎：(参考図書)「出島の科学」および「出島のくすり」を参考にする。九州大学出版会。</p> <p>海洋と文化：教科書は使用しない。当日資料を配布し，プロジェクタで講義を行う。</p> |
| 成績評価の方法・基準等 | <p>長崎24点、安全・安心16点、平和24点、海洋と文化24点、特別講演12点の配点とする。</p> <p>長崎：レポートの内容(60%)と授業への参加状況(40%)を考慮して評価</p> <p>安全・安心：レポート16点</p> <p>平和：3回目授業時に試験実施(24点)</p> <p>海洋と文化：出席状況とレポートによる総合評価。</p> |
| 受講要件(履修条件) | |
| 本科目の位置づけ /学習・教育目標 | |
| 備考(準備学習等) | |